

せいしょう 青翔

第188号

◆青年部ニュース◆ 発行 北大阪商工会議所 青年部 広報委員会

<http://www.kitaosaka-cci.go.jp/yeg/>



メンバー自身が「美」を共感することで、「健康」・「美しさ」を兼ね備えることができるにはどうしたらいいのかなど、8月度例会で講師としてお招きした5人の方々に、「美」について語っていただきました。



今月は、ミスインターナショナル西日本代表、ミスアジアパシフィックセレクトビューティ、フラワープリンセスひょうご、その他、県ミス市ミスなど7つのコンテストを歴任、2010年に第3回ミセス日本グランプリで30代グランプリに選ばれた平島真見さんです。

平島さんは、大学を卒業後アナウンサーになるために、大阪テレビタレントセンターでアナウンスを学び、オフィスキーワードに所属。地方局の Reporter、アシスタント、展示会ナレーターや、各種企業PVナレーションなどでも活躍し、現在はHONEY FMのDJとして毎週木曜日の生放送番組(10時~12時)「ハニーモーニングバルコニー」と日曜日のクラシック番組「ハニークラシックカフェ」(10時~11時)を担当。その他、関西フィルハーモニーなどのクラシックコンサートの司会の他、市や県の公共イベントでMCをされています。趣味の茶道は中学時代に魅了され、現在は茶道裏千家専任講師として茶の湯の普及にも努めておられます。



質問1. ミセス日本グランプリに出たきっかけは何だったのでしょか?

今まで色々なミスコンテストを経験してきましたが、日本で初めてミセスを対象としたコンテストが

ある事を友人から勧められて知りました。外見の美しさを競うコンテストではなく、社会貢献活動や文化教養、その人の生き様が審査基準だと知り、「これだ!」と思って応募しました。当時の私は「読書好き」で「喋る仕事」という自分にできる事を生かし、目の不自由な方に新聞や本を読んで差し上げるという音訳ボランティアをしていました。ボランティアなんていうとおこがましいのですが、自分では読まない本を教えてもらえたり、リスナーさんの「ありがとう」という言葉に心から癒されたり、私のほうがボランティアして頂いているような状況でした。ユニセフや赤十字などの活動にも参加していましたが、個人的な活動には限界を感じていたのも事実です。団体に所属する事で自分にできる事の範囲が広がり、より多くの方に思いが届けば、という思いで活動しています。

質問2. 「美」にかかわる起業家として、目指している目標は何ですか?

私はDJやMCとして活動の傍ら、茶道の普及にも関わっています。日本の伝統文化の中には、引き継いでいくべき良き伝統があります。昨今、現代人に「奥ゆかしさ」や「趣」が欠けていると言われて久しいですが、相手を慮る気遣い心遣いは人間の美しさのひとつだと思います。

日本文化の「美」を情報発信しながら、歴史、文化、伝統を知る機会を多く持つことができれば、本来日本人に備わっている「美意識」が見えてきます。和装も伝統文化のひとつですが、友禅や紬等の手間暇をかけた匠の技に触れる事で、よい物を愛おしむ気持ちが生まれ、着物を着こなすことで所作の美しさも身に付きます。

日本には古き良き時代から私たちが引き継いできた伝承文化があります。これを次世代の未来を担う子ども達に引き継いでいくのが私たちの仕事。和のお稽古は、ただ稽古事を習得するという意味に留まらず、茶道、華道、書道、香道、柔道、剣道と全てに「道」が付きますね。道とは人生そのもの。この「道」を修練する事で単なる技術習得以上の、美しい生き方が身に付くと思います。

茶道は音以外の総合芸術と言われています。茶碗、棗などのお道具に見る美術、芸術、中国や日本の歴史、床にはお軸を掛けますが、書、画賛にも通じていないといけません。席中には花もあり、香も聞く。七事式には和歌を詠む点前もあり、点前中に筆でしたためるので書道の技術も必要ですし、茶室を理解するには建築の知識も必要です。

このように日本文化に触れる事で、日本の「美」を少しずつでも高めていくのが私の目標。淡交会青年部では学校茶道やお子様向けの呈茶ボランティアなども行っています。未来を担う子ども達にも、日本文化を伝える事ができればと思っています。

質問3. 「美」を継続することで、何か特別にされていることはありますか？

美を継続する事と少し観点がずれるかも知れませんが、あらゆる事に好奇心を持ち続ける事は、若々しさや美しさの探求のためにも大切な事であると思っています。目下「古事記」にはまっていて原文、口語訳で読み解き、全国にある神社の祭神や謂れを知る事で随分理解も深まり、御朱印帳を持ち歩いて神社巡りを楽しんでいます。外見的な美を維持するコツとしては私のほうが教わりたいくらいですが、人間の体は本来自分に必要なものを自然に見極める力が備わっているもの。「好きな時に好きなものを感謝していただく」これを指針にしています。具体的には添加物やコンビニ食を避け、地産地消の新鮮な

野菜中心の食生活ですが、これも躍起になるのではなく、趣味の範疇として楽しんでいます。何事も前向きに楽しむ事が秘訣でしょうか。(笑)



<編集後記>

平島さんは、ラジオのパーソナリティをされており、三田にあるHONEY FMのスタジオで取材をさせていただきました。スタジオでの平島さんのワークライフを垣間見ることができました。ラジオの収録であるがゆえの姿が見えない穏やかな空気と、ドビュッシーのクラシック音楽の響きと、ラジオから聞こえる彼女の声がミックスした心地よさがリスナーへ届いているようです。そんな空間のなかで発信し続けるひとりの女性として平島さんが美しく輝いている姿を、ラジオからリスナーも感じているのではないかと思います。

広報委員会 編集 川瀬陽義

北大阪商工会議所 青年部

会員募集



商工会議所青年部【YEG】は
次代の地域経済を担う
若手経営者の集まりです。

平成 27 年度スローガン

「勇往邁進」^{ゆめ}未来を創造し、共に創る

平成 27 年度会長 ^{そとむら あつし} 外村 淳

〒573-8585 枚方市大垣内町 2-12-27
TEL : 072-843-5163 FAX : 072-844-9988
北大阪商工会議所青年部事務局

<http://www.kitaosaka-yeg.jp/>

検索 